

NEWS LETTER

2025
#10

AI時代の皮肉

— 本来の価値観への揺り戻し —



大量生産された情報や完璧なビジュアルではなく、
“実体験に根ざした一次情報”——
“本当にあったこと”“本当に感じたこと”が、
これからの時代に価値を持つ。

ANTS WEDDING

AI時代の皮肉 – 本来の価値観への揺り戻し –

AIが進化し、誰もが簡単に「見た目が整った」写真をつくれる時代になりました。
光も、色も、表情さえも、あとからいくらでも整えられる。
まるで“理想の瞬間”を自由に描ける時代です。
けれど、ウェディングフォトの現場に立つと、その便利さがかえって“人間らしさ”を奪っていくようにも感じます。



たとえば、風で揺れるベール。
緊張してこぼれる笑い。
光が思いがけず差し込む、その一瞬。
それらは決して計算された「完璧」ではないけれど、新郎新婦の人生に二度と訪れない、**かけがえのないリアル**です。

AIが“整える美”を極めていくほどに、
人が心を動かされるのはむしろ、
「整っていない美」であることがはっきりしてきました。
写真は、ただ見た目をきれいに残すものではなく、

その人の“時間”や“感情”を写し取るもの。
光や空気、人の心の動きを、ありのまま残す。
そのわずかな“揺らぎ”こそが、見る人の記憶を呼び起こします。
最近では、SNSの世界でも“盛る”ことに疲れ、
「自然な写真がいい」と言われる新郎新婦が増えています。
完璧なポーズよりも、「ふたりらしい瞬間」を求める声が多くなりました。

それは、AIが進化した今だからこそ生まれた、
本物への回帰なのかもしれません。
これからの時代に価値を持つのは、
大量生産された“完璧なイメージ”ではなく、
その日そこにいた人だけが感じた本当の瞬間。
AIが進めば進むほど、
「人の目で見た光」「人の手で切り取った瞬間」
の価値は増していく。



それこそが、**AI時代の皮肉**なのだと思います。
アンツフォトグラフィは、そんな時代の中で、“ありのままの美しさ”を信じています。

フェイク生成ではなく、心が動いた瞬間を丁寧に残す。
それが、**AIでは決して再現できないウェディングフォトの本質**です。
誰かに見せるためだけではなく、
“自分たちが納得できる一枚”を。
それこそが、AI時代を超えて残る、
本来の価値観への揺り戻しだと、私たちは感じています。



ANTS WEDDING

Haute Couture Photo

所在地：東京都港区赤坂5-1-30

電話番号：03-6426-1121

サイト：<https://antswedding.com>